

こたえ ありと きりぎりす

ひょうじゅん 標準 ⑤

ありと きりぎりす (イソツプのおはなし)

なつの あいだ、ありたちは あせを かいて、
たべものを あつめて いました。

きりぎりすは、木の かげで うたを うたいながら
わらいました。

「こんなに あついののに、よく はたらくね。」

やがて ふゆに なりました。のはらは、ゆきで
まっ白です。

きりぎりすは、たべものが なくて こまって
しまいました。

「ありさん、なにか たべものを わけて
くれないかい。」

ありたちは、あつめて おいた たべものを わけて
あげました。きりぎりすは、つぎの なつは

はたらこうと おもいました。

① なつの あいだ、ありたちは なにを して いましたか。

ア うたを うたって いた。

イ たべものを あつめて いた。

ウ ねて いた。

② ふゆの のはらは、なにで まっ白でしたか。

ゆき

③ きりぎりすは、なにが なくて こまりましたか。

たべもの

④ さいごに、きりぎりすは どう おもいましたか。

ア つぎの なつは はたらこう。

イ つぎの なつも うたおう。

ウ ありは ずるい。